

# 思いを伝えること



廃油から石けん作りに取り組むボランティアグループ「虹の会」のみなさん

宮若市社会福祉協議会だより

～みんなであわせづくり～

# ほっと

平成 30 年 5 月号

## ● 今月の主な内容

平成30年度事業計画・予算	②③
ボランティア情報	④
お知らせ	⑤
イベント情報	⑥
寄附一覧	⑦
事業報告	⑧

# 「新たな制度の見直しに対応できる仕組みづくり」を行います!!

## 1 地域福祉の推進

我が事丸ごと地域共生社会を進めるためには、地域住民が地域課題を整理して認識し、関係機関と協力しながら取り組みを進めるための組織として、福祉会の設置が必要です。そこで、引き続き自治会あるいはブロック別の座談会等を開催し、各自治会の状況にあった組織づくりを進めます。また、災害にも強い地域づくりを進めるため、ふれあい台帳や福祉マップの取り組みを進め、日頃からの支援体制を構築するとともに、関係機関との協働による丸ごと解決できるような仕組みづくりに取り組み、地域の福祉力を高めます。

## 2 ボランティア活動の推進

市民へのボランティアに対する意識を高めるため、広報やホームページ、フェイスブック等で活動の紹介や必要とするボランティアの募集などを行い、これからボランティアをしたいという人たちの登録を進め、皆さんのおもいが形として伝わるようなコーディネートを行い、社会貢献と自分創造の場を広げます。また、地域のニーズに即した活動を進めるため、そのための養成講座の開催など、ちょっとした援助ができるような地域限定のボランティアの組織化を呼びかけ、既存の制度と合わせて住民主体の活動による支援の輪を広げます。

## 3 相談機能の充実

日常的な生活福祉の課題は、本人・家族の生命・生活に直結し、社会関係さえも欠損することもあることから、抱える課題を寄り添いながら整理し、柔軟な対応で、自己決定による解決に向けて取り組んでいきます。また、潜在的なニーズについては、民生委員・福祉委員等地域の関係者に協力を求め、地域のネットワークを生かして「社協に相談すれば何らかの糸口が見つかる」というような、気軽に相談できる場所としての周知を図ります。相談内容によっては、対応する施策が無い、あるいは対応できない場合など、解決の糸口が見つからないような困難な課題に対し、サービスの検討や既存の施策の柔軟な対応について市・関係機関と協議し、その後のフォローも含めて連携しながら継続して支援を行い、生活の自立に向けて取り組みます。

## 4 高齢者の支援

高齢になっても、生きがいを持ち豊かに暮らせる地域コミュニティづくりを目指し、介護予防を目的とした自治会主催によるいきいきサロンや、支援を必要としている人を早期に発見し孤立を防止するための取り組みとして、ボランティアによるふれあい電話、地域福祉会によるネットワーク活動、老人クラブによるふれあい訪問員活動など、地域の相互支援の輪を広げ、行政や関係機関と連携しながら、高齢者が抱える課題に対して、柔軟な対応ができるようなやさしいまちづくりを進めます。

## 5 在宅福祉の支援

市からの受託事業の実施や介護予防を目的とした事業を実施し、在宅福祉の充実に努めます。また、地域と連携した制度の隙間を埋めるようなサービスの開発・提供をしていくために、地域の関係者に理解と協力を求め、協働しながらより充実したサービスを提供します。

## 重 点 項 目

### 事業趣旨

今、社会福祉を取り巻く課題は多く、あらゆる面での地域の取り組みと公的施策が一体となった福祉の取り込みが必要となっています。これまでの住民参加の取り組みを基盤に、行政、地域住民、民生委員・児童委員、社会福祉施設、専門機関、ボランティア・NPO団体等との連携・協働を生かし、みなさんが抱える生活課題を発見し、相談・支援につなげる機能を強化しながら、その解決や予防に向けて、社会福祉協議会だからこそできるより効果のある事業を実施し、しあわせなまちづくりに努めます。

## 平成30年度 事業計画・予算



# 「みんなが主役!お互い支え合う、やさしいまちづくり」を目指し



平成30年度予算 (単位:千円)

収入項目	予算額
寄附金収入	1,900
経常経費補助金収入	56,290
受託金収入	90,561
事業収入	21,337
受取利息配当金収入	20
その他の収入	154
拠点区分間繰入金収入	4,434
前期末支払資金残高	5,277
合計	179,973

支出項目	予算額
人件費支出	124,264
事業費支出	39,624
事務費支出	4,298
助成金支出	2,604
負担金支出	204
積立金支出	578
拠点区分間繰入金支出	4,434
その他の活動による支出	2,391
予備費支出	1,576
合計	179,973

## 6 障がいを抱えている人への支援

障がいの有無に関わりなく、互いの人格と権利を尊重し合い、安心して暮らせる共生社会を進めるため、障がいを抱える皆さんの社会参加を支援する事業を展開するとともに、広く市民に障がいについての理解と認識を深めていただくための学習の機会や交流事業を開催します。また、障がいを抱えた皆さんのニーズを探り、関係機関・団体と協力して、そのニーズに適した事業展開をすることで、障がいを抱える人の社会参加を進めます。

## 7 子育ての支援

すべての子どもたちと子育て世帯を対象に、一人ひとりの子どもの健やかな成長と子どもたちの最善の利益が実現されるまちづくりを進めるため、乳幼児期における子育て世帯の交流の場の提供や団体の支援、子育て用品のリユース、チャイルドシートの貸出など、子育て世代を支援します。また、社協と地域とのネットワークを生かして、子どもたちの貧困や虐待、支援を必要とする世帯を早期に発見し支援していくために、福祉関係者との協働により、地域での支援体制を進めます。

学童保育については、今後も市と協働しながらよりよい環境を提供し、保護者と連携による協力体制と指導員の研修を充実させ、保育全体の向上を図り、保護者も子どもたちも安心して過ごせる学童保育の運営に努めます。

## 8 福祉教育の推進

市民の福祉力を育てるには、それぞれのライフステージにおける多様な福祉教育が必要です。そこで、支え合う福祉コミュニティの構築をめざし、身近な課題を取り上げ、関係者の協力によるセミナーやゼミナール、対象者の活動シーンに適した講座などを開催し、理解と認識を深めていただき、地域での活動に活かしていきます。

子どもたちについては、教育委員会・学校等とも連携し、子どもの頃から福祉の心を育てるため、学習支援や情報提供、必要な機材の貸出、講師の紹介などにより福祉教育を支援します。そして、各学校間の温度差をなくしていくためには、研修会や情報交換を主とした連絡会等を開催し、質の向上と均一化を図ります。

## 9 指定管理制度による社会福祉センターの運営

より多くの人に親しんでいただくため、季節の行事やイベントなども取り入れながら、居心地のよい環境作りに取り組み、利用者数の増加を促していきます。また、社会参加の場や福祉活動の拠点として活用するとともに、もしもの時のために、福祉避難所としての機能の点検や災害時ボランティアセンター設置訓練等を行います。

ふくしバスについては、公共施設への交通機関の利用も含めて、より利用しやすい運行方法について検討し、広報等において周知しながら利用者を増やします。

# ボランティア情報

平成30年4月21日(土)、宮若市ボランティア連絡協議会の総会が開催されました。

今年度は、役員交代などもあり新たな一歩を踏み出します。これからも、14団体延べ会員数266名、力を合わせて福祉のまちづくりに取り組まれます。今回は、この団体の中から、虹の会(表紙写真)の活動をご紹介します。また、随時新規加入団体も募集していますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

## 宮若市ボランティア連絡協議会 役員紹介 (敬称略)

- 会 長 香月 清美 (配食グループひまわりの会)
- 副 会 長 吉良 能里子 (点訳サークルふぁみりい)
- 副 会 長 古野 ヒロ子 (山口読書会)
- 事務局 長 岩見 悦子 (くまの子文庫)
- 事務局次長 高倉 演世 (配食グループひまわりの会)



宮若市ボランティア連絡協議会加入団体一覧表 平成30年4月1日現在 (敬称略)

名 称	会員数	活 動 内 容	名 称	会員数	活 動 内 容
ふれあい電話	6	75歳以上の1人暮らしの方等に安否確認電話	サロンすこやかグループ	53	あったかサロンに参加する高齢者のお弁当作り
睦 会	6	踊り・歌慰問	点訳サークル「ふぁみりい」	10	小学校へのアイマスク・点字指導、広報紙等の点訳、視覚障がい者との交流会
こだまの会	11	各種行事参加	虹 の 会	23	廃油固形石けん作り
なおみの会 第2作業所	20	地域社会との交流 各種行事に参加	配食グループ ひまわりの会	9	あったかサロン弁当配送
山口読書会	17	本の貸し出し、 パネルシアター制作・上映	みやわか健康隊	39	地域サロン活動の支援
読 書 会 「くまのこ文庫」	12	本の貸し出し、読み聞かせ、 各行事を開催	おばんばあ〜ず	12	寸劇や紙芝居等
宮若手話の会 たけのこ	17	手話の勉強会の開催、 手話奉仕員の派遣、手話通訳	直 鞍 広 消 会	24	防火・防災に関する訓練、 研修会、支援

### ボランティアグループ 「虹の会」

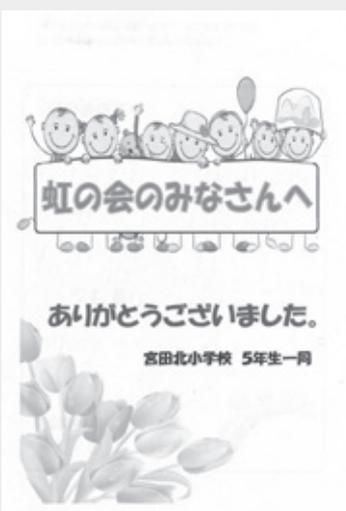
ふる里の川を汚さない、油をゴミに出さない。次の世代に美しいふる里を引き継ぎたいと、旧若宮町婦人会が廃油を利用して石けん作りを思い立ち、視察や技術を学び平成6年に、ボランティアグループ「虹の会」を結成。

平成7年からは、旧若宮町の若宮幼稚園、小学校や施設に石けんの無料配布したことにより、学校では環境問題学習の時間に「廃油石けん」のことを取り上げていただき、利用した子どもたちや保護者からは「上靴を洗ったらピカピカになり1週間が始まるのが楽しみ。幼稚園では泥んこ汚れが落ち助かります。」との声に、私たちは元気をもらっています。

合併してからは、宮田地区の幼稚園や小中学校等にも範囲を広げています。嬉しいことに私たちの活動が認められ、北九州市上下水道局遠賀川環境保全活動団体支援助成事業から助成金をいただくことができました。原料となる苛性ソーダ、石けんの金型等を購入して、家庭や宮若小中一貫校の給食の油、ドリームホープ若宮へ持ち込まれる食用油を利用して、今年で24年目を迎える廃油石けん作りです。

先輩方の思いを1日でも長く続けられるよう、これからも私たちにできることを精一杯やっています。

また、「廃油石けん作り」に賛同していただける方募集中」と岩見園子さんは話してくれました。



賛同していただける方は、  
「虹の会」代表 岩見園子  
TEL52-0927まで

問い合わせ先 宮若市社会福祉協議会 TEL 0949-32-0335 FAX 0949-32-1009

# お知らせ

きもちいい  
ふとんにしませんか！

在宅で寝具の洗濯衛生管理が困難な高齢者に対し、寝具洗濯乾燥サービスを提供します。

## ◇ 対象

・介護保険の認定を受けている方、または65歳以上で同等の方。  
※年齢の基準日は、平成30年4月1日とし、入院・入所している人は対象になりません。

## ◇ サービス内容

・掛布団・敷布団・毛布・掛羊毛・羽毛布団敷羊毛・羽毛団のいずれかを1世帯2枚までを預かり、洗濯乾燥を行います。  
※こたつ布団はご利用できません。

また、布団等の状態によってはお断りする場合があります。

## ◇ 利用料

・掛敷布団・毛布 1枚3000円  
・掛敷羊毛・羽毛布団 1枚7000円

## ◇ 申込期間

・5月1日～5月31日

## ◇ 申請方法

・お住まいの地域の**民生委員**さんにお申込下さい。

## ◆ 申請方法が、わからない場合は、

社会福祉協議会にお問い合わせ下さい。



# 相談



～弁護士による  
無料法律相談～  
してみよう

毎月第2火曜日の午後1時から4時まで、  
弁護士による無料法律相談を実施しています。  
困ったことや心配なことはありませんか？

**5月8日(火) 6月12日(火)**

**事前予約が必要**

- 定員 6名 (1人30分)
- 場所 社会福祉センター (所田)

## 案内図



問い合わせ先 宮若市社会福祉協議会 TEL 0949-32-0335 FAX 0949-32-1009

# イベント情報

## 社会福祉センターに来ませんか！

毎月楽しいイベントを開催しています。  
所田の湯でゆっくりと過ごしてみませんか。

- 日 時：6月22日(金)
- 内 容：渡邊雅則さんによる  
サクソ演奏
- 時 間：12:00～30分程度
- 会 場：社会福祉センター



## ～七夕飾り～

- 開催期間 6月30日(土)～7月7日(土)

好きな色の短冊に願い事を書いてみませんか。



## 市内在住の70歳以上は、無料入館券を配布

宮若市役所（健康福祉課高齢者福祉係）で  
12回入館できる入館カードを無料で配布しています。

市内60歳以上の方 3歳以上小学生以下 障がい児者	}	120円
中学生以上60歳未満		250円

※市外の方は入館料が異なります。

**得** 入浴回数券を購入すると1回分お得です！

定休日 毎週火曜日・8月14・15日  
12月29日～翌1月3日

**無料巡回バスを月・水・金曜日に運行**

※公共施設でも乗降ができますので、ご利用ください。

**皆様のお越しをお待ちしています！**

## 災害義援金報告

### 「平成29年7月5日からの大雨災害義援金」

- 受付期間 平成29年8月24日(木)～平成30年3月30日(金)
- 募金額 52,720円
- 寄附者名 普光寺護寺会 様 福祉センター募金箱



### 「義援金の受付期間延長のお知らせ」

○平成30年9月28日(金)まで延長になりましたので、引き続きみなさまのご協力をお願いします。

義援金のご協力を  
ありがとうございました

## チャイルドシート貸出

### ■どんなときに貸してもらえるの？

- ・市内の子育て世帯で必要な方
- ・宮若市に帰省をし、一時的に必要な方

### ■チャイルドシートの種類

- ・新生児対応型（0歳～4歳頃まで）
- ・幼児学童対応型（1歳頃～6歳頃まで）

### ■貸出期間

- ・短期（3ヶ月以内）・・・祖父母等
- ・長期（最大12ヶ月以内）・・・両親
- ※6ヶ月ごとに更新が必要

### ■必要なもの

- ・印鑑
- ・免許証
- ・利用料・・・1,000円（更新ごと）

### ■詳細はお問い合わせ下さい。



## 子育て用品リユース

不用になった子育て用品を市民の皆様を持ち込んでもらい、必要な人が自由に持ち帰ることが出来る「子育てリユースセンター」を設置しています。ご家庭や職場などで不用になった子育て用品があれば、お寄せ下さい。

**ベッド募集中**



衣類等は、洗濯やクリーニングをお願いします。  
また、リユースすることができないものは、ご遠慮いただく場合があります。  
※自宅に伺っての引取りや買取り、販売はいたしません。

問い合わせ先 宮若市社会福祉協議会 TEL 0949-32-0335 FAX 0949-32-1009

# 寄附お礼

平成30年2月1日～平成30年3月31日(敬称略)

## 香典返しとして

寄附者名	故人	住所
榎本 昇	井上 達子	桐野本区
立花 克巳	立花 ヨシエ	沼 口
山本 ヒサ子	山本 秋雄	四 郎 丸
荒牧 恵美子	荒牧 チトセ	小 伏
安永 満智子	安永 洋海	太蔵西区
塩川 和之	塩川 タミエ	高 野
関岡 由美子	関岡 雅	日 陽
安永 振一郎	安永 葉子	稲 光
山本 カズエ	山本 嘉隆	鶴 田
藤 淵 明宏	藤 淵 ヤス子	太蔵東区
松尾 富子	小田 フミノ	湯 原
柴田 幸枝	柴田 藤夫	下 有 木
有吉 政二	有吉 嶋子	生 見
岩永 良子	岩永 鶴治	百合野団地
松永 長生	松永 文江	矢萩団地

## 一般寄附として

一般寄附者氏名・団体名

宮若市宮田更生保護女性会

次の方々から、「香典返し」として社会福祉協議会にご寄附をいただきました。心よりお礼申し上げます。この浄財は、チャイルドシート貸出事業や無料法律相談事業等社会福祉事業を推進するために、大切に使用させていただきます。

○寄附金は、社会福祉協議会(社会福祉センター内)と若宮総合支所市民課福祉グループ(若宮コミュニティセンター「ハートフル」内)で受け付けています。  
社会福祉増進のため、皆さまのあたたかい善意のご芳志をお待ちしています。

### ーお知らせー

寄附金の税額控除制度により、2,000円以上のご寄附をされた方は、寄附金額から2,000円を引いた金額の40%が税額に関係なく所得税の税額から控除(所得税額の25%が限度)されます。

詳しくはお問い合わせ下さい。

## 車椅子貸出

車椅子の必要な方に一時的に貸出を行っています。

対象は**宮若市在住**で退院、旅行、ケガなどで車椅子を必要とする方としています。

介護保険等、他制度が利用できる方はそちらを優先して下さい。



## 福祉車両貸出



車椅子の方の外出支援として、福祉車両(車椅子送迎車)の貸出を行っています。

対象は**宮若市在住**で車椅子等により福祉車両でしか移動できない人としています。(日帰りが原則です)

事前予約が必要

問い合わせ先 宮若市社会福祉協議会 TEL 0949-32-0335 FAX 0949-32-1009

# 行ってきました!!



次回のバスハイクは、「秋の紅葉狩り」を予定しています。

## あったかサロンでバスハイク

3月22日から4月6日にかけて、「あったかサロン」で花見に出かけました。  
行き先は、桜並木が迎えてくれる岡垣町の成田山です。時折散る桜の花びら、海の景色、この季節ならではの景観をみなさんに楽しんでいただきました。  
道の駅「むなかた」では、買い物を楽しまれ、お土産話もたくさんできました。  
今後、みなさんの笑顔あふれるサロンを開催していきますので、ご参加をお待ちしています。

## 手話サロン・障がい者サロンでバスハイク

4月12日(木)、毎月第2火曜日の「手話サロン」、第2木曜日の「障がい者サロン」に参加しているサロンのみなさんと一緒にバスハイクに出かけました。  
「九州北部豪雨で被災した朝倉市で、当時の状況等を職員の方から詳しく説明を聞き、少しずつでも確実に復興が進んでいることを実感できました。道の駅原鶴では、復興に少しでもお役に立てればとの思いで、みなさん両手に抱えきれないほどのお土産を購入されました。最後に、福岡ヤクルト工場を見学し、徹底された衛生管理と1日に150万本も生産されていることに驚き、楽しい1日を過ごすことが出来ました。」と山本初枝さんは話してくれました。



## 子育て交流会



親子で楽しくフィットネス!

2月27日(火)「ズンバワールド」というフィットネスプログラムを行いました。メレンゲやサルサ等いろいろな音楽やリズムに合わせた動きをインストラクターの原賀さんがみっちりレッスンされ親子で楽しく体を動かすことができました。

## 楽しんでいきます!!



## 福祉センターでイベント

3月16日(金)おばんばあずのみなさんが、小道具からセットまですべてが手作りの心温まる童話劇「浦島太郎」を公演していただきました。  
おばんばあずのみなさんのパワーに感動。観ている入館者の方も笑顔でいっぱいひときりとなりました。  
次回も楽しい公演と元気がもたえられる公演を楽しみに待ちます。

3月27日(火)は「お楽しみシアター」と題して、山口読書会のみなさんが、エプロンシアター、パネルシアター、くるくると絵が入れ替わる桃太郎のお話、歌遊びなど盛りだくさんの内容を楽しんだひと時でした。

